


6651 ^{kuraku}久楽日本の旅：四国路①・出会いの光景 021

.....



山はみどり 野に花 人にはこころ



岩崎 弥太郎 生家

弥太郎は天保五年（一八三四）十二月十一日にこの家に生まれ、彼に富んだ青少年期をこの地に過ごした。

生家は平屋建て四室、藩政時代の中農の屋敷である。表座敷に南面する小庭には弥太郎が自ら置いたという日本列島を形どった石組みがあり、彼はこれに夢をのせたという。庭にある自然石の記念碑は三菱傘下、諸会社有志により建立された。

三菱のマークは家紋の三階菱に、土佐藩の三葉柏を重ねて現在の形となった。明治六年からである。又、弥太郎の少年時代よく登った、すぐ西の妙見山には星神社があり、彼が江戸遊学の際ここに祈願し、社殿の門扉に「吾志を得ずんば再びこの山に登らず」と大書したという。坂本龍馬と同年の弥太郎は五十一才で没したが明治維新よりわずか十八年に、彼の行った事業は社大でその後の日本経済、政治にも大きく影響した。

生誕百五十年（一九八四）を記念して三キロ南の、江の川上公園（国道55線沿い）に銅像が建立された。

安芸市

